



関口 和男 議員



小中学校の情報収集と通学指導について

問 児童生徒や保護者からの声をどのように集約しているか。また、横断歩道における安全指導について伺う。

答（教育部長） 学校評価アンケートを年2回実施している。本年度市内全ての小中学校で始まったコミュニティ・スクールの機能も生かしながら、よりよい学校運営の推進に向けて指導、助言を行っていく。横断歩道の

※日本版DBS…子どもと接する職業に就く人を対象に、過去の性犯罪歴の証明を求める英国のDBSを参考にした制度

安全指導は、古河警察署の協力の下、交通安全指導員による交通安全教室を実施している。

遊具の安全対策について

問 他県のレジャー施設でオートスライダーによる事故があったが、古河市としてはどのような安全対策をしているのか伺う。



答（都市建設部長） 公園遊具は

年1回の定期点検を実施している。さらに、公園施設破損通報フォームを活用し、市民からの通報についても現地確認を行い、迅速に対応している。

日本版DBS^(※)について

問 現在、国会を通過していない法案ではあるが、古河市における考え方について伺う。

答（教育長） 国では議論が進められているところで、具体的な制度化に至っていない。市においては、講師採用の際に、県西教育事務所と連携し、面接等を通して適切な人材の採用に努めている。学校や関係機関等と連携を密にし、最善の努力をしていく。



阿久津 佳子 議員



教育の質の向上について

問 カリキュラム・マネジメントの再構築や教職員の働き方改革を両輪と捉えた「学びの新常識の見える化」が必要である。①学習効果の最大化、授業力と確かな学力向上には「週3日5時間授業」、「2学期制導入」のカリキュラム改革と統一、部活動改革や時間枠を作り意識を変えることがあげられる。②教職員の働き方改革には、既存の学校パラダイム^(※)転換、事務時間

※パラダイム…特定の時代や分野において規範となる「物の見方や捉え方」

枠の確保、多忙化解消や定時出勤、教育活動の継承、継続、進化、発展が必要であり、教員が担うべき業務に専念できる環境整備と線引き（学校、家庭、地域における役割分担の明確化）が必要である。以上について伺う。

答（教育長） ①2学期制の導入に関しては、教職員の多忙化解消と授業時間の確保の面から、検討の必要があると考えている。カリキュラムは、学校の日課や下校時刻等、各学校で創意工夫をしている。②働き方改革は、ICTを活用するなど、児童生徒と向き合う時間を確保するため、役割分担の明確化等を十分に検討していきたい。

答（教育部長） ①週3日5時間授業の実施は、放課後児童クラ

ブや共働き世帯への配慮など、さまざまな課題が考えられる。部活動は、古河市部活動運営方針を策定し、活動時間に上限を設け、可能な限り生徒自ら活動計画等を立案し運営している。②既存の学校パラダイム転換は、現在3学期制をとっているが、昨年度から通知票を年2回に変更し、子どもとの時間確保、教職員の負担軽減につなげている。

時間割表
古河市立〇〇
小中学校

	月	火	水	木	金
1	国語	数学	社会	数学	国語
2	数学	理科	国語	音楽	社会
3	社会	道徳	図工	外国語	理科
4	音楽	国語	体育	体育	数学
5	理科	外国語	数学	家庭	学活
6	委員会	総合	美術	理科	総合

≪その他の質問≫

・障がいのある人への合理的配慮について